Takanabe Council Newsletter
No.187
令和８年　９月議会
■発行者　高鍋町議会議長 古川　誠　■編　集　議会広報編集特別委員会

議会だより

みなさん！「未来の渚を守る会」が有ることをご存じですか？
今回は、この会のご紹介をいたします！

【活動目的】 この会は、環境保全・地域安全・子どもの健全育成などの目的を実現できるよう、地道な活動をされています。

【設立年月日】 2024年３月１日
【会員数】 14名
【主な活動場所】 堀の内海岸・毎月第２日曜日
【活動時間】 午前7：30～8：30

特に力を注いでいる活動：**アカウミガメの保護**



《 アカウミガメが命をつなぐために上陸できる海岸 》

青く広く大きな海を明日の子ども達へ、遺そうと願って活動されています！

「一般の方の参加　大歓迎です！」

お問い合わせ先：豊田佳子（TEL090-9561-0412）



かしはら　とみこ
樫原富子 議員

地域交通について 地域福祉と防災をつなぐ、安心のまちづくり

問①　高齢者の免許返納後の移動支援や、新たな交通手段をどう考えているか。

問②　福祉や地域コミュニティと防災を一体化し、要配慮者を支える仕組みをどう構築するか。

答①　町は路線バスやデマンド交通を維持し、今年度から自主返納者へのタクシー等回数券を予定。ライドシェアは安全性や既存事業者への影響から現時点では導入せず、今後も地域の実情に応じて検討する。

答②　個別避難計画の作成を進め、自治会・民生委員・社会福祉協議会等との連携を強化。福祉避難所の確保や訓練も進め、既存の地域資源を生かして地域防災力を高める。



おがた　なおき
緒方直樹 議員

デマンド交通

問①　予約できない時間帯はあるのか。
問②　現在の車両数から増台する計画はあるのか。
問③　利用時間の延長計画はあるか。
問④　地域性に合わせた乗車場所を増やす考えはあるか。
問⑤　仮想停留所の考えがあるか。

答①　時間帯によってはある。正午前後、夕方の時間帯に予約が集中している。
答②　車両及び運転手の確保を踏まえ、増台を含めた運行体制の充実の検討を行う。
答③　タクシー事業者の経営活動との両立も不可欠の為利用料金の反映を含め検討する。
答④　相談があれば随時その要望を受け付けている。
答⑤　デマンド交通は自力で乗降できることを前提で料金設定している。現在はそこまでできない。
その他、キオビエダシャク対策も質問した。



もりさき　ひであき
森﨑英明 議員

高鍋町の農業について

問①　小規模農家、中規模農家減少の歯止めについてどのように考えているのか。

答①　本町の農業基盤を支えているのは地域に根差し、農地を守り続けてこられた小規模・中規模農家そして兼業農家である。近年、国においては、農地の集約・集積や大規模化を推進する動きが強まっているが、地域の農地保全には不十分であり、小規模・中規模農家の離農は農地の受け手不足を招く深刻な課題と考えている。営農継続を支援することは、本町の農業を守り地域経済を支える上で重要な意味があると考え、本町として生産者の経営改善や生産性向上のため、令和６年度から持続的農業生産基盤支援事業を創設し農業機械、施設取得にかかる２分の１補助（上限 50 万円）ほか農畜産物物価高騰対策支援事業など実施している。



かとう　ひでふみ
加藤秀文 議員

町内公共トイレの現状について

問①　老朽化した旧式トイレについて、今後はどうされるのか。
問②　防犯灯の電気料金は設置されている地区の負担となっているが今後は町負担とならないのか。
問③　何とか駅のスロープ化となるための手立て方法はないのか。

答①　誰もが快適に使える公園トイレの環境づくりに努める。
答②　防犯灯の電気料金の負担軽減について現在実施している調査結果を基に検討を進める。
答③　今後もＪＲとは常に話し合いを続けながらバリアフリー化のチャンス、機会、法の改正、技術革新等を勘案して、駅のバリアフリー化は町民のためにＪＲ九州のためにではなく推進していかなければならないと毎日考えている。



はるなり　いさむ
春成　勇 議員

国道10号線の４車線化について

問①　日向市から新富町までの４車線化の状況は。

答①　国道 10 号線の４車線化について、本町の地域経済の発展や住民生活の利便性向上、さらに防災面においても大変重要な課題であると認識している。日向市から新富町までの間は本町を含む一部の区間については現時点で４車線化の事業が示されてない状況である。町としては現在工事が進められている新富工区の完成目途が立つ時期を見極めながら近隣自治体と共に連携を図りながら４車線化の事業に向けて、引き続き国等の関係機関に要望していく。



もり　ひろみち
森　弘道 議員

竹鳩橋架替事業の町負担額について

問①　竹鳩橋架替事業の町負担額８億８千４百万について、１３年間事業のため年平均で６千万円になると説明されるが、実際は一番少ない年は５百万円、一番多い年は１億２千２百万円かかる。これを押しなべて６千万円という説明されても、実際上、予算編成するときには非常に厳しいと思う。１億円が３年続く年もある。現在の事業費５０億円が１００億円程度までなるんじゃないかという心配もあり、単年度幾ら必要かという計算が必要になると思うが、そういう計算はされないのか。

答①　物価の上昇を勘案しながら決めていく、事業の方向性、進行を図っていくことは、防衛省と確認済みでやっている。その説明の上で、平均６千万円の事業と述べることは何らおかしくないと思う。

あなたの声を町政に

12名が登壇

QRコードをチェック 登壇姿が見られます。



なかむら　すえこ
中村末子 議員

２項目の質問についての意見

【意見】
今回の一般質問では２項目を質問し、「誰も取り残さない」という、ＳＤＧｓの精神にのっとり行政調査に行き野洲市の状況をしっかりと高鍋町の町政に活かせる提案をした。その中で、実態をしっかりと調査しどのような対応が望ましいのか、またどうすべきかを質問した。

憲法 25 条では最低限の生活を保障することを述べ、これをどう実現するべきかを町長、教育長、副町長の順に野洲市の状況を認識されたと思う答弁が得られた。

またもう１項目の職員の働き方などについては、地方公務員法第30 条を下に全体の奉仕者として、どのような働き方が望ましいのかなどについて議論を重ねた。

いずれも 30 分の一般質問時間では足りなかったが、私なりに町民の意見をもとに終了した。



まつおか　のぶひろ
松岡信博 議員

町長の説明責任について

問①　意見交換会で「温泉や美術館建設で賛否を問う説明会は無かったという町長の答弁は嘘である。町民の意見を聞きながら機運の盛り上がりや町民の総意の下できた」と役場 OB の意見があった。そんな町民の声を聴く姿勢が、本来の行政の姿では。
問②　町長の３期目無投票当選は、町民から竹鳩橋建設の信任を受けた結果とは。
問③　町民が納得するまで何度も説明をすべき。
問④　人口１～２％利用で 15 億円も出す必要か。

答①　温泉や美術館等の説明会は聞いていない。
答②　３期目の争点は竹鳩橋建設一つ、誰も反対として意見を言う方、あるいは立候補された方は、いなかった。
答③　同様の内容の説明会は考えていない。
答④　将来の安心安全を確保する本事業の投資は極めて高い合理性を有する。



こだま　ひでと
兒玉秀人 議員

安心安全な町づくりについて

問①　大地震後の複数個所での火災についての訓練を行っているのか。
問②　災害時の水の確保は、大丈夫なのか。
問③　高鍋駅に平面交差の踏切を設置し、跨線橋を避難場所として残せないか。

答①　同時多発火災を想定した訓練は行っていない。
答②　飲用水はペットボトルで約２０００リットル備蓄している。竹鳩浄水場には、個人で携行できる給水袋を９０００袋用意して非常時の飲料水の確保をしている。
答③　JR 九州からバリアフリー化の施工内容について「現在、様々な手法について協議を行っており、引き続き協議を行いながら決定していきたい」との回答であった。跨線橋を災害避難用として残すことは難しい。



ながとも　よしかず
永友良和 議員

本町における災害対策について

問①　鴫野川の内水被害対策は。
問②　指定避難所に物資の備蓄は。
問③　家庭介護の個別避難計画書の作成は。

答①　有事の際は、移動式ポンプの準備ができている。なお、鴫野川の浚渫を県に要望したところ、前向きな回答が得られた。
答②　備蓄スペースが確保できる避難所については、備蓄できる体制の整備を進め、スペースの確保が難しいところは、施設管理者と協議し、備蓄倉庫の設置などについて検討していきたい。
答③　一人一人の条件が違うので難しい作業になるが、地域包括支援センター等と連携し、円滑な計画作成に努めていきたい。



はし　しげふみ
橋　重文 議員

高鍋っこガイドの創設について これまでの一般質問の要検討事項について

問①　臼杵市の臼杵っこガイドを参考に、高鍋版の高鍋っこガイドを創設することについて、町長の考えは。
問②　学校施設については、ＡＥＤがいつでも使えるよう屋外設置を検討したいとのことであったが、現在どうなっているのか。

答①　子どもたちによる情報発信の取り組みは、現在進行中の取り組みが地域にしっかりと定着し、基盤が固まったその先に、次のステップとして見据えるべきである。
答②　学校施設におけるＡＥＤの屋外設置は、予算計上し準備を進めていたが、学校に設置しているＡＥＤはリース契約による装置であるため防犯等の理由から、当該会社から屋外設置の許可が下りず、設置を断念した。



ひだか　まさのり
日髙正則 議員

農畜産農家の廃棄物処理支援について 本町における鳥獣被害と今後の対策推進について

問①　資材高騰に苦しむ農家の経営安定に直結する重要な課題。町長の認識と今後の対策方針と廃棄物処理費の補助導入はできないか。
問②　鳥獣被害対策についての予算増額や制度見直しを、今後、検討する考えは。

答①　生産者にとってさらに利用しやすい仕組みとなるよう、処理コストや負担軽減などについて、他地域の情報収集を行うなど、引き続き調査していく。今後、高鍋町・新富町・木城町農業用廃プラスチック適正処理対策協議会の場において課題として取り上げ、必要な調査や対応について協議していく。
答②　予算面も含めて、調査検討していく。

令和８年　第３回定例会　可否表

（○賛成　×反対　ー欠席）　※議長は採決に加わりません

件名		1 日髙	2 森崎	3 橋	5 春成	6 兒玉	7 中村	8 永友	10 森	11 加藤	12 樫原	13 松岡	14 緒方	15 田中	16 古川
認定１	令和７年度高鍋町一般会計歳入歳出決算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	／
議案49	令和８年度高鍋西中学校第２棟防音機能復旧（空調・換気）工事（機械設備）請負契約について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／

以下の議案は、全員賛成で同意・可決されました。

議案39	専決処分の承認を求めることについて（専決第５号）［令和８年度高鍋町一ツ瀬川雑用水管理事業特別会計補正予算（第1号）］	認定７	令和７年度西都児湯固定資産評価審査委員会特別会計歳入歳出決算について
同意８	監査委員の選任について	認定８	令和７年度高鍋町水道事業会計決算について
同意９	教育委員会委員の任命について	認定９	令和７年度高鍋町下水道事業会計決算について
同意10	教育委員会委員の任命について	議案42	高鍋町認可地縁団体印鑑条例の一部改正について
議案40	令和７年度高鍋町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	議案43	令和８年度高鍋町一般会計補正予算（第４号）
議案41	令和７年度高鍋町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	議案44	令和８年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算（第２号）
認定２	令和７年度高鍋町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について	議案45	令和８年度高鍋町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
認定３	令和７年度高鍋町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について	議案46	令和８年度高鍋町介護認定審査会特別会計補正予算（第１号）
認定４	令和７年度高鍋町介護認定審査会特別会計歳入歳出決算について	議案47	令和８年度高鍋町介護保険特別会計補正予算（第２号）
認定５	令和７年度高鍋町介護保険特別会計歳入歳出決算について	議案48	令和８年度高鍋町下水道事業会計補正予算（第１号）
認定６	令和７年度高鍋町一ツ瀬川雑用水管理事業特別会計歳入歳出決算について	議案50	令和８年度高鍋町一般会計補正予算（第５号）

第３回定例会に、傍聴にこられた方にアンケートをお願いしました。

《傍聴者27名》

○これまで議会を傍聴されたことがありますか。

初めて……（1）　2回目……（0）
ときどき行く……（0）　よく行く……（4）

○議会の開催をどのようにお知りになりましたか。

ＬＩＮＥ……（2）　町のホームページ…（2）
新聞……（1）　議員から……（1）
その他……（0）

○議会傍聴の目的・理由について。

議会に関心がある……（4）　町政に関心がある（4）
議案や質問内容に関心がある（2）　議員に誘われた…（0）
各種団体や知人に誘われた（0）　その他……（1）

※各議員の町政に対する姿勢を知るため

○議員の発言内容はよくわかりましたか。

よくわかった……（3）　おおむねわかった（2）
全く分からなかった……（0）　未回答……（0）

○答弁者（町長・職員等）の発言内容はよくわかりましたか。

よくわかった……（2）　おおむねわかった…（3）
全く分からなかった…（0）　未回答……（0）

※美辞麗句は多いが、実行面の回答が少ない気がします。町の基本方針に沿った明快な進展、結果に関する答弁が欲しい。

○今回、傍聴されてお気づきの点がございましたら、ご記入下さい。（一部抜粋）

・2，3名が寝ている。どういうことか。
・ユーチューブ配信での発表は非常に良いことだと思いますが、議会傍聴が少なくなるのは寂しい。発言者はマイクを正しく使って、傍聴者、ユーチューブでもよく聞き取れるように。
・高鍋町におけるデマンド交通のより一層の利便性の向上（早急な）を切に希望します。

定例会初日の会議の様子 QRコード

定例会最終日の様子 QRコード

編集後記

この広報委員会の構成員は今回で最後になりました。４年間ありがとうございました。

この４年間、議会だよりを時代に即したものになるようにとの思いで編集し大きく変えてきましたが、不十分な点が多々あったと思います。

次回から新たなメンバーでの編集になります。今後も議会だよりは、変化し、少しでも皆様に議会について関心を持ってもらえるようと願っています。

広報委員会

委員長　兒玉秀人
副委員長　樫原富子
委員　森崎英明
委員　橋重文
委員　森弘道
委員　加藤秀文